

令和3年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|-----------------------------------|
| 事業名 | 「御柱祭」伝統文化を基軸とした諏訪地域連携による観光推進事業 |
| 事業主体 (連絡先) | 諏訪地方観光連盟 (0266-58-1123) |
| 事業区分 | (6) 産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり) |
| 事業タイプ | ソフト |
| 総事業費 | 8,955,100 円 (うち支援金 : 7,164,000 円) |

事業内容

1. 御柱祭を活用した地域イメージ向上

御柱祭に係る地域住民に焦点を当て、伝統を伝えていく重みと役割を取材し、地元や地域外の方々へ伝えきれていない祭りの深みを掲載した。

御柱祭への直接的な誘客がコロナ禍で難しく、御柱祭を題材にしたつと諏訪広域の観光誘客番組企画に仕上げた。また、ショートトリップを前提に県内への番組配信を行った。

2. 伝統文化、おもてなしに着目した地域資源の活用

御柱祭や諏訪大社を基軸に諏訪地域の周遊マップを制作した。歴史的重要な拠点から観光スポットまで、自然、温泉、体験、グルメなど6市町村の広域マップに落とし込みを行った。

コロナ禍で観光業界が危機的状況のなか、旅行会社、広告代理店との協働により、新しい取り組みとしてオンラインツアーを実施した。

3. 御柱祭情報の一元化及び情報共有プラットフォームの確立

御柱祭情報発信のためのアプリを利用した宣伝活動として、インターネット広告を利用しつつ、情報発信拠点となる web サイトへの誘導を行った。



【オンラインツアーの様子】

【目標・ねらい】

- ① 地域住民のシビックプライド向上
- ② 県内外への諏訪地域周知
- ③ 観光施設へパンフ配布
- ④ オンラインでの新しい取組
- ⑤ SNS を用いた告知、周知

事業効果

1. 御柱祭を活用した地域イメージ向上

祭りを支える方々の記事を通じ、観光客や地元の方々の祭りに対する伝統や歴史、地域の関わり方を理解し、次回御柱祭へ向けて臨める。

2. 伝統文化、おもてなしに着目した地域資源の活用

6市町村や観光協会、観光案内所職員の意見を取り入れ制作しており、案内する方、もらう方に使い勝手の良いマップの制作ができた。また、オンラインツアーを初めて実施し、ウィズコロナ時代の新しい取組みができた。

3. 御柱祭情報の一元化及び情報共有プラットフォームの確立

3-1 御柱祭情報発信のためのアプリを利用した宣伝活動

SNS の宣伝を通じて、御柱祭サイトへ誘導することで多くの方に知ってもらえることが出来た。

※自己評価 【B】

【理由】

コロナ禍であり、観光も厳しい状況が続いているが、想定した状況も鑑みて、事業を進めることが出来た。

今後の取り組み

新型コロナウイルス感染症により刻々と変わっていく令和3年度であり、多くの力が必要とされる御柱祭の準備を進めることが出来ず、感染拡大防止と伝統文化の継承・継続を両立するために外郭団体である当連盟として何が出来るのか大きな課題となった。観光地である諏訪地域の活性化のためにはウィズコロナ、アフターコロナを見据えたサステナブルな観光地づくりが必要であり、各所取組みが進む中で、御柱祭をきっかけに地域文化や歴史を紐解き、地域住民が地元愛や誇りを持って取り組める環境づくりが当連盟に課せられた課題であり目標であると考えている。御柱イヤーとなる令和4年度についても、その基本姿勢は変わらず、次回御柱祭、さらにその先にも繋がる様な提案を住民と共に続けていきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある